

## 2 社会増への転換 ～未来を担う人材の定着～



### 【基本目標2】

人生を楽しみながら多様な人材が互いに高め合い、新しい価値を創造できる地域を構築することにより、人口の社会増への転換に向けて、社会減を縮小します。

### 主な取組

### 成果

#### (1) 多様な人材の定着

##### ○官民一体となった「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」により移住を推進

三大都市圏に専任の相談員を配置  
「信州で暮らす、働くフェア」の開催

##### ○定年帰農者やIターン者の就農を支援

必要な貸し付けを行った金融機関へ利子補給（H28年度～）

##### ○「二地域居住者向けコンパクト住宅」の普及を促進

移住、二地域居住体験用のコンパクト住宅を整備する市町村への支援  
二地域居住希望者向けに「二地域居住者向けコンパクト住宅」での暮らしの提案  
〔銀座NAGANOにおいてプレゼンテーションイベントを開催〕

##### ○行政サポートによる移住者数

H28年度 1,074人  
↓  
H29年度 1,274人

##### ○定年帰農者やIターン者の就農への融資実行率 100%

4件（申請4件）、計168万円を融資

##### ○移住・二地域居住体験施設の整備

H29整備箇所数：2町村（辰野町、小川村）  
利用者：23組73名  
（H28整備分（木曾町、青木村）の利用者）

プレゼンイベント参加者数：

65名（6/18、11/18の計2回延べ数）

(2) 産業イノベーションを誘発する企業・研究人材の誘致

- 全国トップレベルの減税制度等の実施により本社・研究所等の企業誘致を推進

県税(不動産取得税等) 95%減税  
【減税率日本一】

- 「プロフェッショナル人材戦略拠点」による専門人材の誘致 (H27年11月～)  
企業の経営革新の実現を図るため、県内企業の求人ニーズと県内外の専門人材のマッチングを支援

- 研究所の誘致 1件 (H28年)  
過去10年間 (H20～H29)の研究所立地件数 7件 (全国第6位)

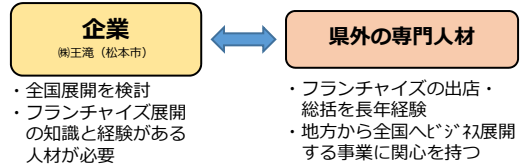


日亜化学工業(株)諏訪技術センター

- 東京等からの本社機能移転認定 6件 (H27～H29年累計)

- プロフェッショナル人材戦略拠点による企業と県内外の人材マッチング 累計成約件数99件 (H30年3月時点)

【マッチング事例】



(3) 知の集積と教育の充実

- 「信州高等教育支援センター」を設置し  
長野県高等教育振興基本方針を策定  
・松本大学教育学部並びに清泉女学院大学及び長野保健医療大学看護学部設置の支援  
・長野大学、諏訪東京理科大学の公立化を支援



信州高等教育支援センターの設置

- 産学官の連携による県内への人材定着の取組の推進



三輪キャンパス メインエントランス

- 長野県立大学の開学 (平成30年4月)

- 県内大学の志願者数の増加

年度	志願者数	志願倍率
H28	12,266人	3.6倍
H29	15,592人	4.5倍
H30	15,683人	4.2倍

県内大学の魅力アップ!

- 産学官連携でインターンシップのマッチングを実施 37名が参加 (H29年度)

- 県内企業の海外事業所でのインターンシップへの参加を支援 17名が参加 (H29年度)



(3) 知の集積と教育の充実

○信州学の推進

- 各校で地域の特性を踏まえ  
て工夫した取組実施
- 「信州学」ホームページの  
充実と情報発信



○教員のICT指導力向上研修を推進

○ICTを活用した確かな学力の  
育成を推進

○特別支援学校における  
教育用タブレット端末の整備

○高校におけるグローバル人材の育成

- スーパーグローバルハイスクール (SGH)  
長野高校 (H26)、上田高校 (H27)
- 未来塾ながの in the Philippines

○全ての高校で信州学を実施 (H29年度)

各校で地域に根ざした  
「探究的な学び」を実施

取組例 (松本県ヶ丘高校)  
「地方創生アイデアコンテスト2016」に  
参加し、地方創生大臣賞 (最優秀賞) 受賞



○教員ICT活用指導力の向上

授業中にICTを活用して指導する能力のある  
教員 H27 : 65.8% → **H28 : 67.8%**  
全国水準75.0%(H28) へ更に取組を進める

○県立高等学校全普通教室への電子黒板・タブ  
レットPC1クラス分整備高校数

H27 : 0校 → **H29 : 14校**

○特別支援学校への教育用タブレット端末  
整備数

H28 : 18校 348台 → **H29 : 18校 480台**

○長野高校・上田高校において、グローバ  
ル化への先進事例となる研究を实践

○県内の高校生をフィリピン共和国へ  
20名派遣 (H28年度)

数値目標の進捗状況

\*進捗区分 ●「A」: 目安値以上 ●「B」: 80%以上100%未満の進捗  
●「C」: 80%未満の進捗 ●実績値なし: 今年度実績値が把握できない  
・進捗割合 = (実績値 - 基準値) / (目安値 - 基準値) ・目安値: 各年の目標値

社会増減 (転入者数 - 転出者数)	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
	目安値	人		▲3,400	▲3,000	▲2,700	▲2,400	▲2,000
	実績値		▲3,703	▲3,244	▲2,949	▲2,530		
進捗区分				A	A	A		

住民基本台帳移動報告 (総務省統計局)  
【備考】2025年での社会増減を0 (転入・転出均衡) とすることを旨とし、現状から社会減を均等に減少させる

進捗状況の分析

- 3年連続で社会減の減少幅は縮小し、目安値を達成しました。
- 引き続き社会増への転換に向け、移住の促進、多様な人材の定着、産業イノベーションを誘発する企業や研究人材の誘致、高等教育の充実等の施策を推進します。

## 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」:目安値以上 ●「B」:80%以上100%未満の進捗  
 ●「C」:80%未満の進捗 ●実績値なし:今年度実績値が把握できない  
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値:各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
移住者数 (企画振興部調)	目安値	人		2,150	2,300	<b>2,450</b>	2,700
	実績値		2,000	1,386	2,084	<b>1,908</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 市町村の受入体制の充実等により行政サポートによる移住者数は増加したものの、移住者補足アンケートの回収率が低下したため、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 引き続き、セミナーの開催や相談体制の充実を図るとともに、市町村転入窓口への依頼により移住者補足アンケート回収率の向上に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
移住相談件数 (企画振興部調)	目安値	件		7,065	7,558	<b>8,051</b>	9,000
	実績値		6,572	7,547	7,952	<b>7,510</b>	
	進捗区分			A	A	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 全国の自治体が移住相談窓口を整備してきたことや、移住者向け専用サイトIターン信州の取扱件数が減少したこと等により、目安値に到達しませんでした。 (今後の取組) 引き続き、移住潜在層へのアプローチ等による新規相談者の獲得や、きめ細かい相談対応により、相談件数の向上を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域おこし協力隊員数 (企画振興部調)	目安値	人		165	219	<b>230</b>	240
	実績値		112	205	280	<b>332</b> (全国2位)	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、研修会の実施や地域おこし協力隊サポートネットワークにおける情報共有等により、隊員の受入を支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
週末信州人等登録者数 (企画振興部調)	目安値	人 (累計)		0	50	<b>150</b>	350
	実績値		—	—	13	<b>125</b>	
	進捗区分			実績値なし	C	<b>B</b>	
	【備考】 長野県内にも生活の拠点を置く県外住民数	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、二地居住者向けの広報の充実や、協賛企業が提供するサービスの充実を図ることにより登録を促進します。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
ふるさとテレワーカー数 (企画振興部調)	目安値	人		29	90	<b>160</b>	300
	実績値		—	56	124	<b>197</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	【備考】 テレワークを活用して大都市等から移住するテレワーカー数	現状分析・今後の取組	(今後の取組) テレワークに取り組む市町村が増え、順調にテレワーカーの誘致が図られています。引き続き、市町村と連携し、セミナー開催等により普及展開に取り組めます。				

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
企業立地件数 工場立地動向調査(経済産業省)	目安値	件 (累計)		40	80	<b>120</b>	200
	実績値		30	26	61	<b>102</b> (全国6位) (H29単年※)	
	進捗区分			C	C	<b>B</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、今後成長が期待される次世代産業分野やICT産業などに重点を置いた企業誘致に取り組みます。 ※研究所を除いた企業立地件数				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年)
税制優遇等を受け本社移転・拡充を行う企業数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		3	10	<b>17</b>	31
	実績値		—	3	7	<b>10</b>	
	進捗区分			A	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 全国トップクラスの減税率に加え、県独自に創設した助成制度のPRにより誘致を図ったことで実績は伸びたものの、企業の地方移転は全国的に見ても進んでおらず、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 国の地方拠点強化税制が31年度末まで2年間延長されたことから、引き続き市町村・金融機関と連携し、また長野県の強みを活かした誘致を強力に進めます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
プロフェッショナル人材戦略拠点による人材のコーディネート件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		10	60	<b>110</b>	210
	実績値		—	58	374	<b>682</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) プロ人材戦略拠点を通じて金融機関、民間団体、民間ビジネス事業者と連携し、引き続き県内企業の求人ニーズの掘り起こしと首都圏等の求職者等とのマッチングに取り組みます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H32年度)
県内大学の収容力 学校基本調査(文部科学省)	目安値	%		16.3	16.3	<b>18.0</b>	18.0
	実績値		16.3	16.5	17.0	<b>18.6</b> (速報) (全国45位)	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、新たな大学・学部・大学院の新設を支援するとともに、長野県で学ぶ魅力を県内外に発信します。				
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H32年度)
県内私立大学の定員充足率 (県民文化部調)	目安値	%		98.4	98.8	<b>99.2</b>	100.0
	実績値		98.0	101.9	102.7	<b>102.9</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、県内高等教育機関の魅力を高め、県内外へ発信していきます。				

指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H32年度)
県内専門学校の定員充足率 (県民文化部調)	目安値	%		56.3	57.2	<b>58.2</b>	60.0
	実績値		55.4	54.2	55.1	<b>55.0</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 工業、商業実務の分野で増加したものの、高い定員充足率を維持してきた医療分野のほか、教育福祉、服飾家政の分野で減少したことから、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 県内専門学校と企業との連携強化を支援し、専門学校の魅力向上を後押しすることにより、定員充足率の向上に取り組めます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
県内大学卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		58.7	60.3	<b>61.8</b>	65.0
	実績値		57.1	56.0	55.9	<b>54.5</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 卒業生に占める県外出身者の割合が例年より高い大学の県内就職率が低下したこと等により目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 産学官インターンシップマッチング事業など、長野県で就職することに対して魅力を感じてもらえる取組を一層推進します。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
県内専門学校卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		87.8	88.3	<b>88.9</b>	90.0
	実績値		87.2	81.6	84.2	<b>81.1</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 看護や福祉など資格養成を目的とする学校は高い県内就職率を維持していますが、県外出身者の多い学校のほか、商業実務、衛生、文化教養分野の一部学校で県内就職率が伸びなかったことから、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 県内専門学校と企業との連携強化を支援することにより、専門学校の魅力向上を後押しするとともに、人材の育成・定着の推進に取り組めます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
産学官の連携による取組数 (県民文化部調)	目安値	件		296	296	<b>296</b>	維持・向上
	実績値		296	290	325	<b>332</b>	
	進捗区分			C	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、産学官連携による県内大学の教育研究の充実を促進します。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
県内大学生のインターンシップ参加率 (県民文化部調)	目安値	%		24.3	28.2	<b>32.2</b>	40.0
	実績値		20.4	17.5	22.8	<b>27.0</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 参加学生数は増加したものの、雇用情勢の好転等により、目標に到達しませんでした。 (今後の取組) 引き続き、産学官連携マッチング事業や海外インターンシップ支援事業などを通じ、インターンシップの機運を高めるとともに、関係者と連携して参加しやすい環境を整えます。				

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差(小学校) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	目安値	ポイント		+0.9	+1.1	<b>+1.2</b>	+1.5
	実績値		+0.8	+0.4	+0.5	<b>▲0.2</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 国語B、算数Aの平均正答率は、全国を若干下回り、また、両科目とも下位層が若干増加傾向にあり、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 授業改善推進プロジェクト事業を中心に、全ての学校すべての授業において、授業改善が進むよう学校を支援していきます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差(中学校) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	目安値	ポイント		▲0.5	▲0.3	<b>+0.0</b>	+0.5
	実績値		▲0.8	▲0.6	▲0.2	<b>▲0.1</b>	
	進捗区分			C	A	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 数学Aの平均正答率は全国を若干下回り、それ以外の科目は、全国とほぼ同等か若干上回った結果、マイナス幅は縮小したものの、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 授業改善推進プロジェクト事業を中心に、全ての学校すべての授業において授業改善が進むよう学校を支援していきます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
信州学を実施する県立高校の割合 (教育委員会事務局調)	目安値	%		0.0	85.0	<b>100.0</b>	100.0
	実績値		—	3.5	100	<b>100</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き各校における取組を充実させるため、モデル指導案の開発や学校間連携を図る事業を進めていきます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
県内高校卒業者(新卒)の県内就職率 学校基本調査(文部科学省)	目安値	%		91.3	91.3	<b>91.3</b>	維持・向上
	実績値		91.3	91.2	90.7	<b>91.4</b>	
	進捗区分			C	C	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き各校で個々の生徒に応じた進路指導を行うとともに、労働局で実施する「地元企業の高校内企業説明会」等と連携し、県内企業の魅力を発信していきます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
信州型コミュニティスクールの実施割合(小・中学校) (教育委員会事務局調)	目安値	%		50.0	75.0	<b>100.0</b>	100.0
	実績値		36.5	67.6	93.8	<b>100</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) これまでの成果や課題を踏まえ、地域学校協働活動など文部科学省の施策とともに、さらに取組の充実を図ります。				

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域の行事に参加する児童(小学校)の割合 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	目安値	%		89.9	89.9	<b>89.9</b>	維持・向上
	実績値		89.9	90.1	89.8	<b>87.8</b>	
	進捗区分			A	B	<b>B</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 子どもたちが地域に愛着を持ち、行事の参加につながるよう、信州型コミュニティスクールの取組の充実を図ります。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域の行事に参加する生徒(中学校)の割合 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	目安値	%		63.7	63.7	<b>63.7</b>	維持・向上
	実績値		63.7	65.7	64.5	<b>63.2</b>	
	進捗区分			A	A	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 全国平均42.1%と比較しても非常に高い水準で推移しているものの、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 子どもたちが地域に愛着を持ち、行事の参加につながるよう、信州型コミュニティスクールの取組の充実を図ります。				